

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	The value of typing basal cell carcinomas in predicting recurrence after surgical excision	
	論文の日本語タイトル	外科的切除後の再発予測としての組織型分類の意義	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ18-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	843446	
	医中誌 ID		
	雑誌名	British Journal of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	96	
	号	2	
	ページ	127-132	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
発行年月	1977		
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Sloane J	Department of Histopathology, Royal Postgraduate Medical School
	その他著者 1		
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8項目	目的	基底細胞癌の再発予測因子としての組織型分類の意義を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	英国の総合病院	
	対象者	基底細胞癌 134 例の 156 病変	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	組織型	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
主な結果	症例全体の再発率は 11%。Nodular、nodular with infiltrative margin、infiltrative、multifocal の 4 型に分類し、それぞれの再発率は 6%、12%、25%、30%であった。Infiltrative をさらに sclerosing と non-sclerosing に分けた場合のそれぞれの再発率は 26%、20%であった。		
結論	組織型分類は再発の予測因子として有用。		
備考	1 例を除き、6 年以内に再発。		
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) 術後の観察期間についての記載がないため、エンドポイントとしての再発率の信頼性がやや劣るが、著者が設定した組織型分類は現在のスタンダードな分類法にも通じていると思われる。	